

パンフレット

# VIAVI

## OLP-39G、OLP-39X

SmartPocket™ V2 TruePON テスター

VIAVI ソリューションズの OLP-39 TruePON テスターは、ファイバー/FTTx ネットワークのパワーレベルと損失を素早くかつ簡便に測定して、G/XGS-PON PON-ID データ分析 (TruePON) を行うことができる計測器です。SmartPocket V2 は、あらゆるスキルレベルの作業者に使いやすく、フィールドでのファイバー/PON サービスのテストおよびトラブルシューティング用に、コスト最適化された専用ソリューションを提供し、ポケットに完全に収まります。また、スマートで高耐久性の OLP-39 は前例のない容量のデータストレージを装備し、PC に結果をダウンロードできます。



### 主な利点

- 正しい OLT ポート接続性により、初回で導入を確実に成功させます (PON-ID に基づく)。
  - アクティベーションの遅延を最小限に抑え、1 日あたりのインストール数の目標を達成
  - 障害のエスカレーションとトラブルシューティング費用を削減
  - 境界インストールを原因とするインストールの放棄と初期障害の回避
- 同一の PON に G-PON および XGS-PON が共存できることによる 10G サービスへの移行サポート
- 必要なときにすぐに使用可能 - 超高信頼性と高可用性
  - 高品質/信頼性設計
  - 屋外環境を考慮した設計
  - 低消費電力で長時間の連続使用が可能
  - 瞬時に起動 - 起動時間なし
- 使いやすい操作性
  - 状況に応じたソフトキーを備えた見やすいバックライト付きグラフィックディスプレイ
  - 明確な合否情報

### 特徴

- デュアル波長測定用の単一テストポート接続
- G/E-PON および XGS-PON/10G-EPON サービスの両方で選択式パワーレベル測定
- TruePON PON-ID 分析と G-PON および XGS-PON のインサービス挿入損失
- 1,000 以上のテスト結果の保存と PC ダウンロード機能
- 3 年に 1 度の校正周期

### アプリケーション

- G/E-PON および XGS/10G-EPON/10G-EPON ネットワークの両方で光パワーレベルとびリンク挿入損失を測定
- G-PON および XGS-PON の PON-ID を分析し、ToL に基づいて OLT-ID、ODN クラス、および損失を検出
- マルチサービス PON/FTTH の展開と導入

## 特徴と利点

### 超高信頼性/高品質設計

屋外使用向けの高耐久性  
それでもポケットに収容可能!

### 保護キャップの改良で 完全に開くことが可能

### 大ストレージ容量

1,000 以上のテスト結果を保存

### ソフトキーの柔軟性

### 複数のパワーオプション(4 方式)

アルカリ単三 x 2、ニッケル水素単三  
充電電池 x 2、AC 電源アダプター、USB



### 新しい見やすいグラフィカルディスプレイ バックライト付き

### 革新的な低消費電力設計

15 時間以上の連続運転が可能な極めて長いバッテリー動作時間

### USB-C インターフェイス

電力供給、結果のオフロード化、PC 接続

- OLP-39G には、シングルマウント式の SC アダプターがあり、同時選択的パワー測定および G-PON の TruePON PON-ID データ分析 (1490nm) を同時に実行できます。
- OLP-39X には、シングルマウント式の SC アダプターがあり、G-PON (1490nm) と XGS-PON (1577nm) の両方で波長の選択的パワー測定を同時に実行できます。

## インスタントオン – 使いやすい操作性 – すぐに使用可能

インスタントオンとは、SmartPocket V2 がいつでも準備が整っており、計測器が起動するのを待たずに、必要なときにすぐに使用できることを意味します。見やすいバックライト付きディスプレイにより、SmartPocket V2 は屋内および屋外のあらゆる照明条件で使用でき、非常にシンプルなユーザーナビゲーションを組み合わせることで、1 日あたりの終了ジョブ数を増やすことができます。

## フィルター測定値と単一のテストポート

PON に複数のサービス波長が存在する場合は、測定値のフィルタリングが必要です。ブロードバンドパワーメーターは、誤った測定結果を提供する複数の波長のパワーを組み合わせるため、このような条件には全く適していません。さらに、ブロードバンドパワーメーターは測定した波長を区別も識別もできないため、パワーレベルが良好であっても、それがサービスアクティベーションの遅延につながる ONU/ONT の誤設置または誤交換の原因が G/E-PON または XGS-PON/10G-EPON のどちらのサービスにあるのかわかりません。

OLP-39 は、単一のファイバー接続で G/E-PON (1490nm) と XGS-PON/10G-EPON (1577nm) の両方の波長の同時フィルター測定を可能にし、共存モデルの同じ PON 上の 2 つの異なるプロバイダーからのサービスを提供するネットワーク、および G/E-PON ネットワークと XGS-PON/10G-EPON ネットワーク間を定期的に移動する必要がある工事業者向けの理想的なソリューションであり、また、現在 G/E-PON を提供し、XGS-PON/10G-EPON へのアップグレードや移行を検討しているサービスプロバイダーにとっては将来にも対応できるソリューションです。

## TruePON 解析とインサービス挿入損失

ドロップ装置のキャビネットまたはドロップファイバーのポートのラベルが欠落している、正しくない、あるいは判読できないと、顧客から OLT への接続が正しくないため、初回の訪問時にサービスがターンアップしないか、実際に接続されている OLT ポートにサービスを再プロビジョニングするための時間のかかるバックオフィス作業が発生する可能性があります。TruePON 解析は、正しいドロップ装置があることを確認し、ダウンストリーム PON-ID データ内で伝送される OLT のシリアル番号とポート番号を読み取ることによって、ドロップファイバーが正しい OLT ポートに接続されていることを確認します。また、TruePON 情報は、保存された測定結果にも添付され、導入時のパワーレベルと OLT 接続を文書化した監査証跡/出生証明書になります。TruePON 解析は、ITU-TG.984.3 修正 3 によって標準化された G-PON と XGS-PON PON-ID で伝送される特定のデータを抽出します。

G-PON または XGS-PON PON-ID データを利用したインサービスの挿入損失測定により、技術者と工事業者は、設置を進める前に PON の End-to-End の光損失が仕様の範囲内にあることを確認したり、光損失が仕様に従っていないことを確認して、トラブルシューティングをサポートしたり、トラブル/障害チケットのエスカレーションを正当化するための情報を提供したりできます。

## 長時間バッテリー動作と電源オプション

測定を行い、ファイバー敷設の認証を実行することは、現場にいる間にタスクを終了処理するための最後の手順です。テスト機器の電源が入っていて準備ができていないと、締め切りに間に合わなかったり、作業を終了するためにサイトに再度訪問するリスクを伴うこととなります。これを回避するために、SmartPocket V2 は、長時間の連続使用のための低消費電力設計を採用しており、交換可能な充電式ニッケル水素電池、市販のアルカリ電池、AC 電源、および USB 経由の電源供給という 4 方式の電源に対応しています。このため、長時間動作のためのバッテリー容量不足や、ユニットのバッテリーが再充電されるのを待つ必要はありません。

## 低所有コスト

3 年の校正周期ということは、追加の年間手数料がなく、機器は報告と認証の要件を満たす（すなわち、校正済み状態となります）ことを意味します。

## フィールド測定テストとレポート

VIAVI Smart Reporter レポートングソフトウェアにより、ユーザーは数クリックですばやく効率的にテスト結果データをパワーメーターのメモリからダウンロードできます。ダウンロード後、ソフトウェアレポート機能により、ユーザーは専門的な検査レポートを生成およびカスタマイズできます。

Report date: Thursday, January 14, 2021

### Opticheck Report - Sample 01

**Technician Information**  
Company Name: Technician AG  
Technician Name: Mr. Technician  
Address: Technician Street  
Postal Code: 72764  
City: Reutlingen  
State: Baden-Württemberg  
Country: Germany  
Phone: 0163438574  
Email: technician@office.com

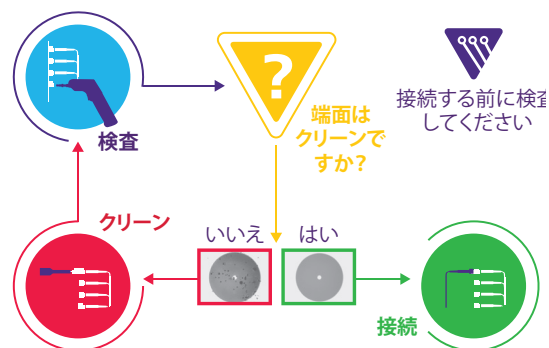
Device Type:	OLP35SC/14	Calibration Date:	2021/JAN/12
Serial Number:	A-0443	Software Version:	2333V01.00.00

**Measurement results**

Fiber ID	λ [nm]	Power [dBm]	Power [μWatt]	Power [dB]	Reference [dBm]
2021-01-14T15:42:46	1310	-20.52			
2021-01-14T15:43:46	1310	-20.82			
2021-01-14T15:43:58	1310		11.22		
2021-01-14T15:45:01	1490			-19.80	0.00
Room-03, Fiber-001	1490			36.15	-56.37
Room-03, Fiber-002	1550	-22.86			
Room-03, Fiber-003	1550	-23.09			

## 接続前の検査 (IBYC)

光ネットワークのトラブルシューティングの一番の理由は汚れです。ファイバーコネクタの予防的な検査とクリーニングにより、信号性能の低下、機器の損傷、およびネットワークのダウンタイムを防止できます。



## VIAMI ケアサポートプラン

オプションの VIAMI ケアサポートプランで、最大 5 年間、生産性を向上できます。

- オンデマンドトレーニング、優先的なテクニカルアプリケーションサポート、迅速なサービスにより、時間を最大限に活用できます。
- 予測可能な低コストで最高のパフォーマンスが得られるように機器を保守します。

プランをご利用いただけるかどうかは、製品と地域により異なります。すべてのプランがすべての製品またはすべての地域でご利用いただけるわけではありません。お住まいの地域でこの製品に利用いただける VIAMI ケアサポートプランのオプションについては、地元の代理店にお問い合わせいただくか、次の URL にアクセスしてください。

[viavisolutions.jp/viavicareplan](http://viavisolutions.jp/viavicareplan)

## 特徴

\* 5 年プランのみ

プラン	目的	技術アシスト	工場修理	優先サービス	自己ベースでのトレーニング	バッテリーとバックの 5 年保証	工場出荷時の校正	アクセサリの保証	緊急貸出しサービス
 BronzeCare	作業者の効率	プレミアム	✓	✓	✓				
 SilverCare	保守と測定精度	プレミアム	✓	✓	✓	✓*	✓		
 MaxCare	高可用性	プレミアム	✓	✓	✓	✓*	✓	✓	✓